

## About ATOHM GT Series

ATOHM社のGTシリーズは、同社のドライバー及びスピーカー設計における技術的到達点となる製品であり、現実的なディメンションからなるエレガントな外観と究極の性能を兼ね備えた唯一のモデルとして製品化しました。

長期にわたる研究と多くのテストを積み重ねた結果、GTシリーズはATOHMの数あるユニットの中でも最も高性能な「Absolute Series」ドライバーユニットを装備しております。

ツイーターは28mm口径のソフト・シルクドーム・ツイーターで、フレームに高剛性かつ慣性振動の除去が確実な射出成型されたアルミニウムを使用。表面にADP技術(Anamorphic Dispersion Patterns-漸進的変化による分散パターン)を用いた特殊なパターンを刻むことで指向性がよく、また超高域におけるフレームの反射による干渉を防いでいます。

ボイスコイルはボビンにアルミを、コイル線材にCCAを採用して軽量化を図り、更に磁性流体の充填やセンターポールにインダクタンスを低減する銅リングを装着することでよりスムーズなピストンモーションと歪みの低減に成功し、30KHzまでの再生を可能にしました。

磁気回路にはネオジウムを採用。リアのマグネットカバー内に特殊なダンピング処理を施し、ユニットの最低周波数帯域を最適化することでより滑らかな高域特性を得ています。

ウーファーは150mm口径の特殊合金製メタルコーンで、賢固な射出成型アルミ製のフレームに取り付けられています。

ボイスコイルにはカプトン/ノーメックス材を使用することで軽量化とより完璧なピストンモーションでの再生を可能にします。

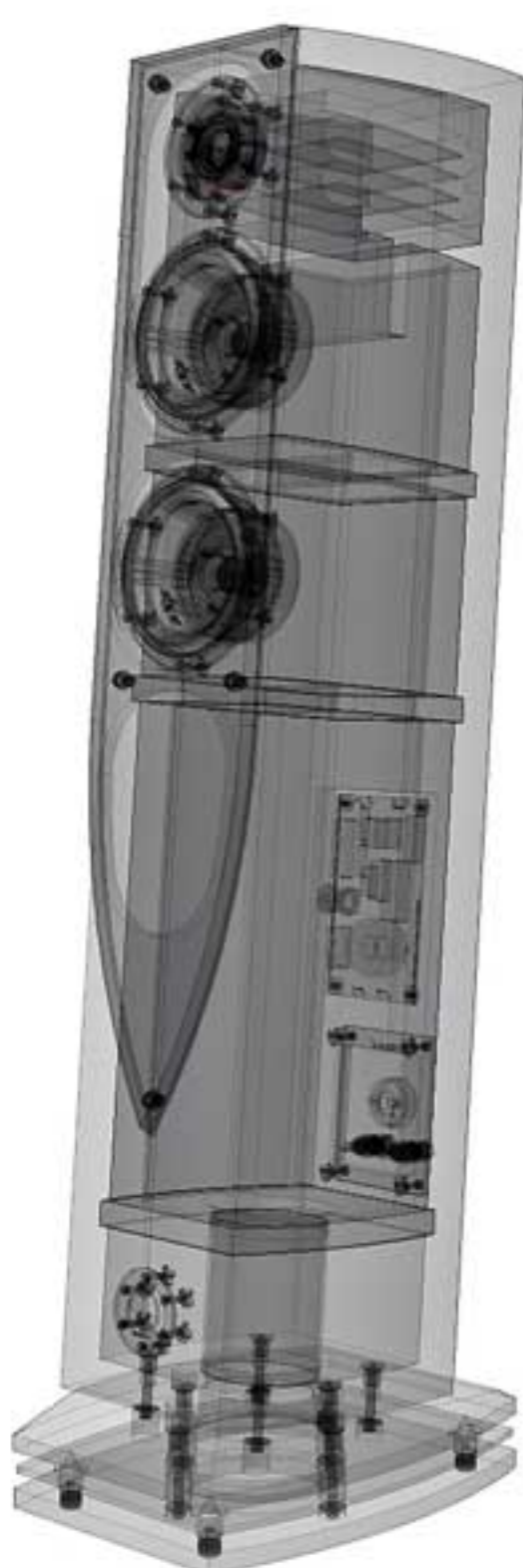
磁気回路には強力なフェライト磁石を採用し、ツイーター同様インダクタンスの低減を目的とした銅リングをセンターポールに装着することでクリアな低域再生を行います。



SD28 ND04RD ABSOLUTE SERIES TWEETER



LD150 ABSOLUTE SERIES MID BASS



キャビネットにはMDF材を使用。両サイドのラウンド部は厚さ3mmの板を数枚積層にした後、成型処理を施しています。

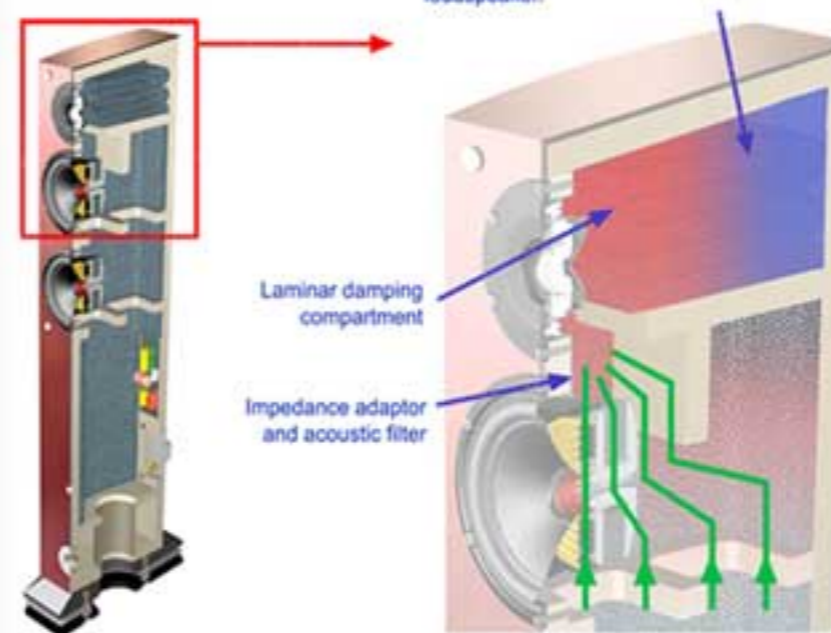
GT2.0にはSWD技術(Standing Wave Dumper)を採用。キャビネットの最上部にコンパートメントを設け、そこにフェルト製の吸音材を充填することでキャビネット内に発生する定在波を吸収し、非常にクリアな中低域の再生を可能としています。

また、最下部にもコンパートメントを設け、フロントのオーナメントを取り外すことでオーナーの好みに応じてそこから砂を充填できる構造となっております。

キャビネット透視図  
(左: GT-2.0, 右: GT-1.0)



SWD™ TECHNOLOGY  
'Standing Wave Dumper'



SWD概念図

The standing wave are trapped and then damped. They cannot re-enter in the principal volume and hinder the functioning of the loudspeaker.

アッテネーター調整ノブ



ネットワークはTCC技術(Time Coherent Crossover)を採用し高域/中低域のユニットの取り付け位置からなる時間的なずれを補正することで精度の高い定位感を再現しています。また、リスニングルームや使用するアンプに応じて1500Hz~30KHzの範囲で±1.5dbの調整が可能なアッテネーターを装備しています。

全てのGTシリーズの内部配線にはOCCを芯線として、その周りに208本の銀メッキUC-OFC線を撚ったATOHMオリジナルの「ZEF MINI」スピーカーケーブルを使用しています。

TCC概念図

Virtual position of the Tweeter as a result of the temporal calibration cell

Ideal alignment of the acoustic emissive centers  
Physical position of the tweeter

